

中国で亜州現代美術展上海展

中国・上海市松江區で、

絵画、書道、映画制作など幅広いジャンルで活動するアーティスト呂忠平氏の美術館が創立され、これを記念して「2024 亜州現代美術展上海展」が5月18日～6月1日に現地で開かれた。

日本からは、共催した亜細亜美術協会を代表して高田哲雄理事長のメディア・アート作品4点のほか、ガラス工芸、彫刻を含む同協会の代表作品が展示された。

この美術館では、撮影スタジオや公開ホールを含む5000平方メートルの壮

アジア地域の文化芸術交流 亜細亜美術協会・理事長の メディア・アート作品展示



高田氏とメディア・アート作品など

大な施設と、回廊式中国庭園などを披露。オープ

ニングセレモニーでは総勢300人超が集まった。高田理事長は「とにかく呂忠平氏の意気込みとパワーには敬服した。美術館と映画スタジオ、さらに公開ホールを隣接して建設するというスケールの大きいアイデアに学ぶべきところがあると思う」と述べている。

高田理事長は、3DCG映像、絵画、音の彫刻、デザイン、インスタレーションなど多岐にわたり活動。2020年に亜細亜美術協会理事長就任。文部科学大臣賞、東京都知事賞、フジテレビジョン賞、損保ジャパン奨励賞などを受賞した。

亜細亜美術協会は、国内外の絵画・彫刻・工芸の現代美術作家作品の展示と相互交流を目的に、アジア地域の文化芸術交流に寄与している。